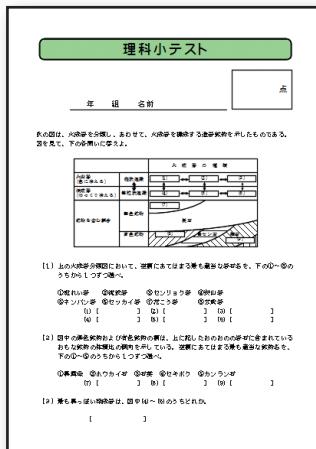




理科のテスト問題を作ろう

花子



実験器具や各種の図解を用いることが多い理科のテスト。花子のイラスト（部品）を利用すれば、作成する手間がグンと省けます。白い長方形を描いて部品に重ねれば、穴埋め問題の作成もらくらく。見やすいテスト問題を手早く作りましょう。

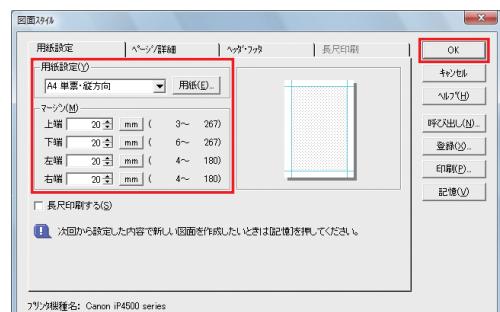


コネタくんからのアドバイス!

理科だけでなく、ほかの教科のテストやプリント教材作りに役立つイラスト（部品）もいっぱい。どんなものがあるか、一度見てみてね。

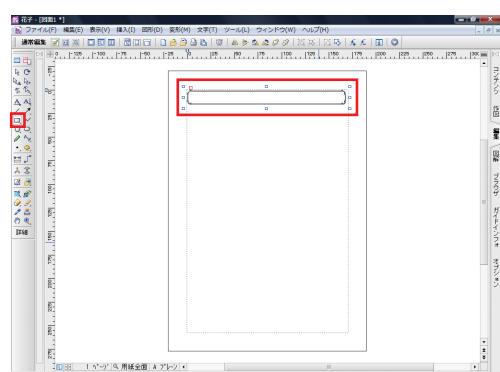
用紙の設定をする

1 [ファイル]→[用紙の設定]を選択し、[用紙スタイル]ダイアログボックスで用紙の向きやマージンを設定して[OK]をクリックします。



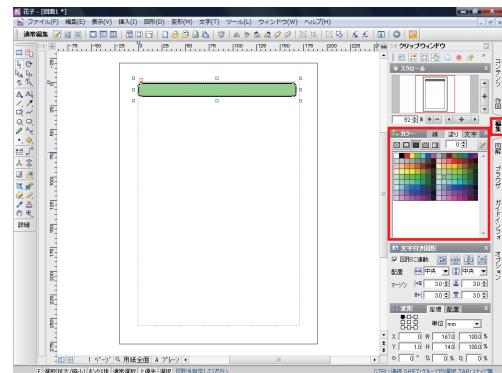
タイトル部分を作成する

1 描画パレットの□[長方形]を押し続けると表示される□[丸め長方形]を選択し、ドラッグして丸め長方形を描きます。



※編集画面を広くするため、文字入力ウィンドウは最小化しています。

2 [編集] タブをクリックし、カラースタイルパレットで線や塗りを設定します。

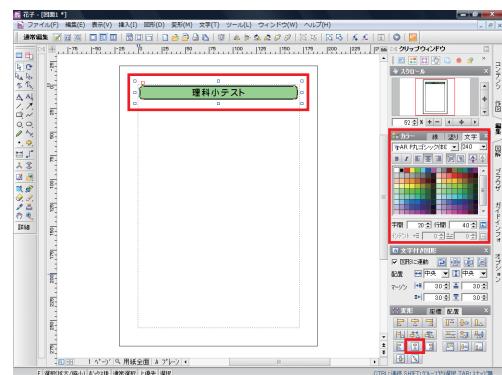


3 丸め長方形が選択された状態のまま「理科小テスト」と入力し、[Esc] キーを押して文字枠を閉じます。

カラースタイルパレットの [文字] シートでフォントや文字サイズ、字間を設定し、変形パレットの [配置] シートで [印字左右中央揃え] をクリックします。

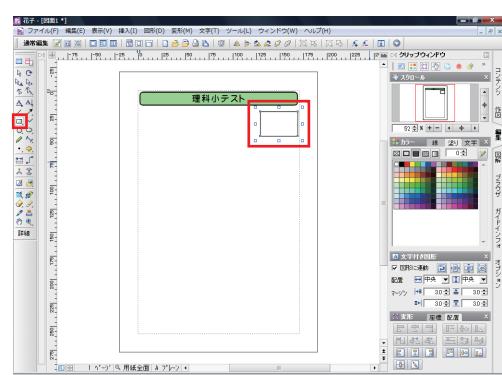


[] [印字左右中央揃え] をクリックすると、選択されている図形を印字面の左右中央に揃えられます。

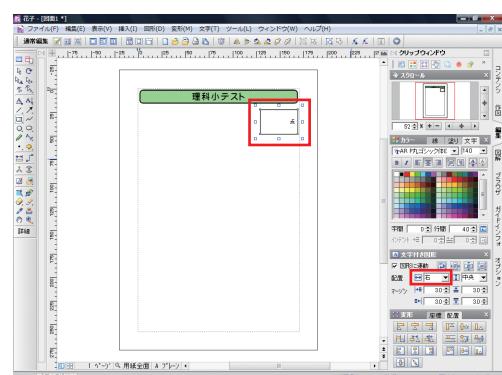


4 描画パレットの [丸め長方形] を押し続けると表示される [長方形] を選択し、ドラッグして長方形を描きます。

2 と同様の操作で、線や塗りを設定します。



5 長方形が選択された状態で「点」と入力し、文字付き図形パレットの [配置] の [文字の配置 (左右)] で [右] を選択します。[Esc] キーを押して文字枠を閉じ、3 と同様の操作でフォントや文字サイズを設定します。

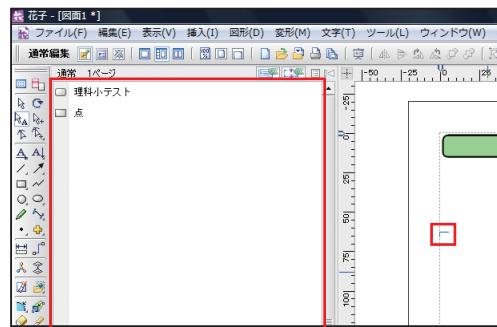


本文を入力する

1 文字入力ウィンドウを表示し、文字入力ウィンドウ内をクリックしてから、図面内の文字を入力したい位置でクリックします。

One Point

文字入力ウィンドウ内をクリックすると、描画パレットの [図形の選択 (文字入力)] をクリックしたのと同じ状態になります。



2 文字入力ウィンドウに本文を入力します。新しい項目 (文字枠) を作成したい場合は、[Ctrl] + [Enter] キーを押します。

One Point

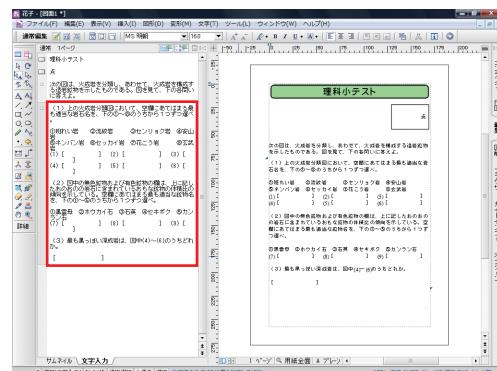
文字入力ウィンドウに入力した文字は、図面上にも反映されます。



3 新しい項目が作成されたら、続きを本文を入力します。

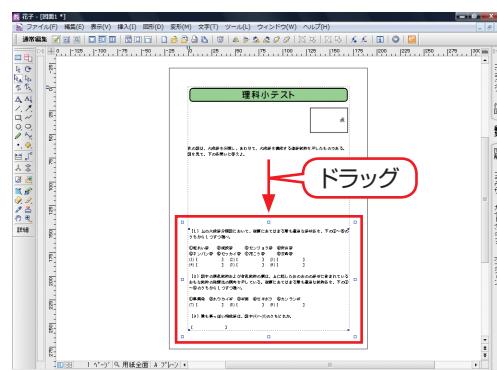
One Point

入力した文字のフォントや文字サイズ、行間の設定を変更する場合は、[文字-文字枠スタイル] を選択すると表示される [文字枠スタイル (変更)] ダイアログボックスで行います。



部品を配置して、穴埋め部分を作成する

1 部品を配置するスペースを作るため、下の文字枠をドラッグして移動します。



※編集画面を広くするため、文字入力ウィンドウは最小化しています。

2 [コンテンツ] タブをクリックし、[部品] シートで [学校・教育・教科・地学] を選択します。

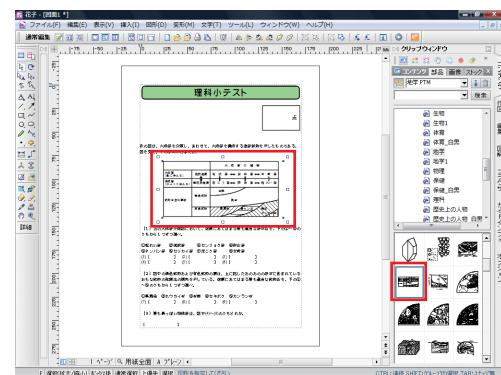
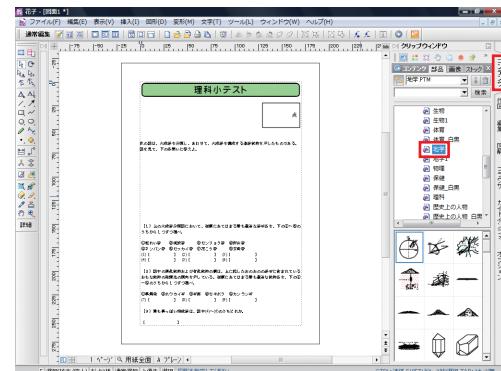


文字枠の選択は解除しておきます。

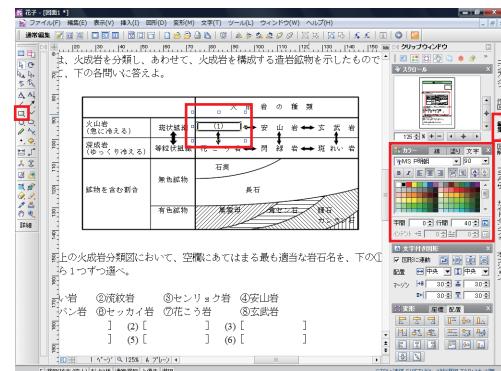
3 部品の一覧から [火成岩の分類] を選択します。
部品が図面に配置されたら、大きさや位置を調整します。



選択した部品は、図面の中央に配置されます。

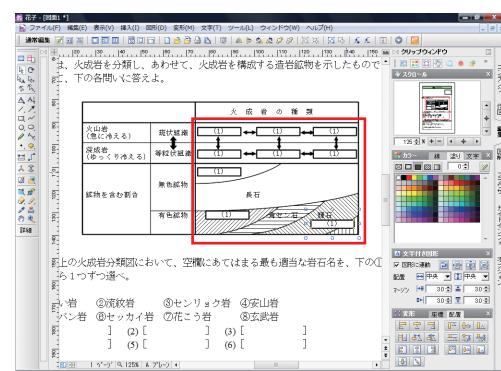


4 描画パレットの [長方形] をクリックして穴埋め部分に長方形を描きます。
長方形が選択された状態のまま「(1)」と入力し、[編集] タブをクリックしてカラースタイルパレットの [塗り] シートや [文字] シートで、塗りや文字サイズを設定します。



※編集画面を広くするため、文字入力ウィンドウは最小化しています。

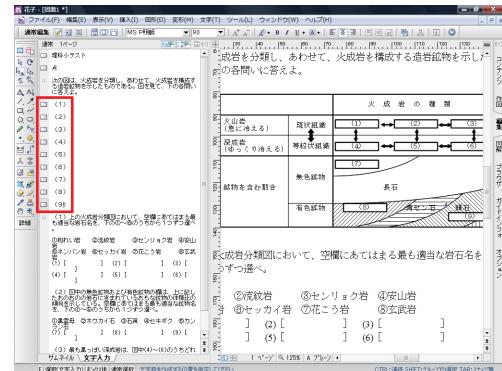
5 「(1)」と入力した長方形をコピーし、穴埋め部分にすべて配置します。



6 文字入力ウィンドウを表示し、「(1)」を「(2)」
「(3)」とそれぞれ修正します。

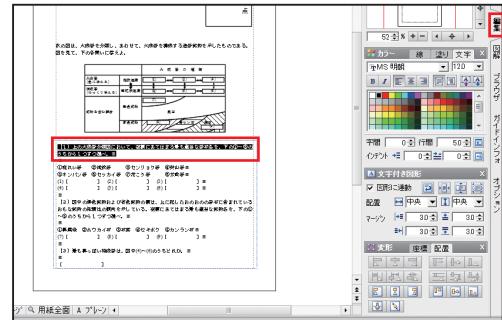
One Point

文字をまとめて修正する場合は、文字入力ウィンドウを利用すると効率的に行えます。



行頭（インデント）を設定する

1 「編集」タブをクリックし、行頭（インデント）を設定したい行（ここでは問題文）を範囲指定します。

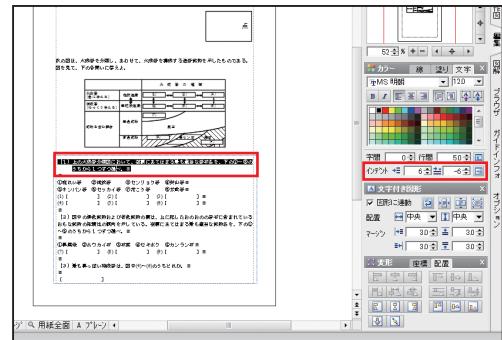


※編集画面を広くするため、文字入力ウィンドウは最小化しています。

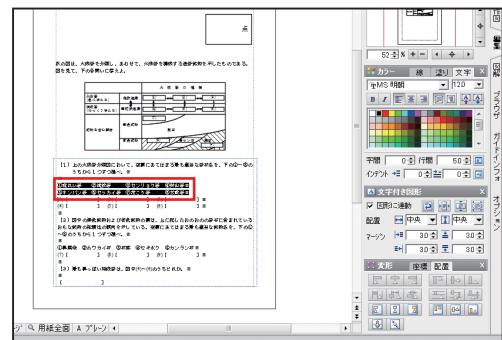
2 カラースタイルパレットの「文字」シートで [左インデント (カラム)] に「6」、
 [1行目の左インデント (カラム)] に「-6」と入力します。[Enter] キーを押して確定すると、問題番号だけが左に飛び出します。

One Point

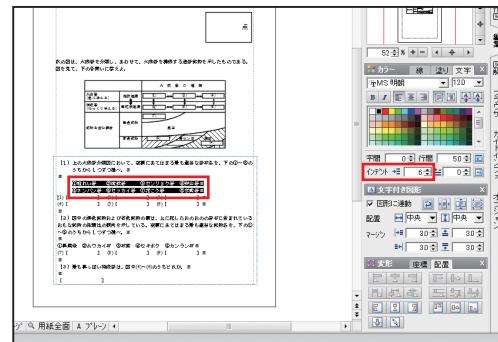
1 カラムは半角1文字です。



3 行頭（インデント）を設定したい行（選択肢や回答）を範囲指定します。

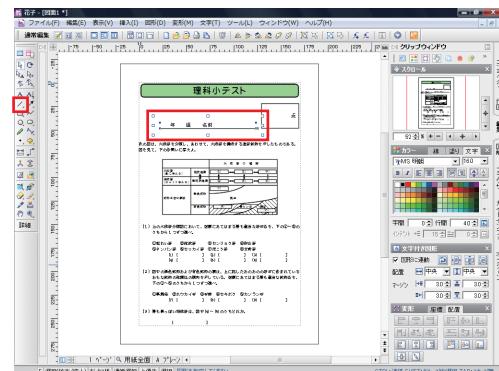


4 カラースタイルパレットの「文字」シートで、
➡ [左インデント (カラム)] に「6」と入力
します。[Enter] キーを押して確定すると、選択肢
に左インデントが設定されます。同様の操作で、ほ
かの行にも行頭 (インデント) を設定します。



学年・組・氏名の入力欄を作成する

1 描画パレットの [直線] をクリックして直
線を描いたり、文字を入力したりして、学年・
組・氏名の入力欄を作成して完成です。



ちょっとアレンジ!

教科の部品を活用する

花子にはプリント教材に最適な部品が、教科ごとに多数用意されています。どんな部品があるか確
認しておき、プリント教材の作成にお役立てください。

